令和6年度 公募提案型補助金交付決定団体実績

1	団体名	芦屋熟年コーラス
	事業名	芦屋熟年コーラス創立40周年記念コンサート
	実施日時	令和6年4月7日 午後2時から4時
	実施場所	ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
	参加人数	438名
	事業内容	コーラス演奏 指揮：藤谷奈都 ピアノ演奏：稲葉由己子 第1ステージ：夢の世界を・マイパレード・モルダウ・春に 第2ステージ：啄木短歌集 第3ステージ：この広い野原いっぱい・学生時代・高校三年生・見上げてごらん夜の星を・涙をこえて 第4ステージ：NHK朝の連続テレビ小説の主題歌より一春よ、来い・いのちの歌・365日の紙飛行機・麦の唄 アンコール曲：大地讃頌
	事業の成果・効果	アンコール曲を含め全15曲を平均年齢79歳（最高齢86歳）の男女が暗譜で歌い上げたことは聴衆の皆様には大きな驚きを与えたようで、終了後多くの方々から「感激しました」というお言葉をいただくことができました。このことから、本事業は地域の活性化に寄与することができたと考えています。

2	団体名	k” club
	事業名	k” cup団体戦
	実施日時	令和6年5月23日・30日 午前11時から午後5時
	実施場所	潮芦屋交流センターテニスコート・103号室
	参加人数	62名
	事業内容	『家に籠っている人々を、太陽の光の下へ引っ張り出そう！』と思い、テニス愛好者・経験者・老若男女問わず参加を可能にし、団体トーナメントを実施しました。初参加や初試合の方々がいらっしゃったため、試合のルールや進め方を学習しました。午後から学校終わりの子ども達も参加できるゲームを実施しました。 テニストーナメントとゲームにそれぞれ賞を設けて、皆で参加者の頑張りをたたえました。
	事業の成果・効果	今回、良かった点は初顔合わせや別チームにも関わらず、お互いに応援したり褒め合ったりしていたことです。「ナイスボール」「ナイスショット」等の声出しやチーム内での声掛け、アドバイス、話し合いの場面も見られました。通りかかりの女性の方が「どこかの中学生か高校生ですか」と声を掛けてくださるぐらい全員が生き生きとしていました。昼食時は子育てや介護の悩みを話し合っている様子を見かけました。これはプラスの効果だと考えています。あまり知らない人だからこそ話せることがあると感じました。 不安顔で来た朝とは違い笑顔で帰っていただけたこと、参加者同士そして私達スタッフにも新しい出会いが生まれたことに感謝します。そして、参加者の皆様の今後の日常に「運動」を取り入れていただけるきっかけになることを期待します。最後に、今回の審査でご指摘いただき気付かされた点がありました。参加後のアンケートと合わせて改善していきたいと思っております。ありがとうございました。

3	団体名	芦屋川カレッジ学友会
	事業名	元宝塚スターと歌う音楽会
	実施日時	令和6年10月7日 午後2時から4時
	実施場所	ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
	参加人数	250名
	事業内容	<p>10:00 会場にてリハーサル</p> <p>12:00 会場・舞台設営・受付の準備</p> <p>13:30 開場</p> <p>14:00 元タカラジェンヌ2名 毬穂えりな及び麻樹ゆめみによる音楽ショー</p> <p>15:00 休憩の後に聴衆と一緒に歌う 観客の拍手は鳴りやまず、アンコールが一曲演奏されました。 曲名は、井上陽水の「夢の中へ」</p> <p>16:00 演奏終了</p>
	事業の成果・効果	<p>宝塚歌劇は女性に絶大な人気がありますが、実際に舞台や演奏を鑑賞する機会にはほとんどありません。今回、歌劇団を卒業後も元タカラジェンヌとして各方面でご活躍の毬穂えりな、麻樹ゆめみのお二人を招き、素晴らしい歌唱力と演技力を披露していただきました。二人のショーの後には、全員で歌う時間を設け心をつなげて観客の皆様にも楽しく歌っていただきました。</p> <p>男性の参加者も多かったことが印象的でした。男性は普段宝塚歌劇団にいかれる機会が少ないので、今回はタカラジェンヌの舞台を楽しむ絶好の機会だったようです。</p> <p>当日のお昼前後からお天気が悪くなったことは、集客に多少影響したと思われるかもしれません。参加された方々は、楽しそうな晴れ晴れとした表情で会場を後にする方が多く、あちらこちらから良いコンサートだったという感想が聞かれました。会員だけでなく一般の方々にも楽しんでいただけた印象です。</p> <p>反省点としては、お昼から簡単なリハーサルをして午後から催しを計画していましたが、出演者の希望とできるだけ良い演奏会にしたいという主催者側の意向に従い午前中はフルリハーサルを行ったため、人件費や設備費を含む会場の費用が大幅に増えて最終的な経費が当初予算を大幅に上回ったことです。良質な催しをするには、それなりの経費がかかります。今後は、企画の段階でもう少ししっかりと催しの詳細について予算計上できるよう心掛けたいです。</p>

4	団体名	芦屋市書道協会
	事業名	第67回芦屋市書道展
	実施日時	令和6年12月14日 午前9時から午後9時 15日 午前9時から午後3時
	実施場所	芦屋市民センター 多目的ホール・301号・302号
	参加人数	835名
	事業内容	第67回芦屋市書道展として広く市民に告知して募集し展示・審査しました。市民の方にも無料で来館していただき書芸術を楽しんでいただきました。表彰式には「市長賞」「議会賞」「教育長賞」「奨励賞」「金」「銀」「銅」「協会特別賞」等と市長・議長・教育長・臨席の元に盛大に行いました。今年は、小学生の篆刻作品も展示しました。役員作品には作品説明の釈文も掲示しました。
	事業の成果・効果	数多くのそして個性的な作品を一同に展示し市民に無料で鑑賞していただきました。出品した市民の方の書を通じた交流や書の独特の芸術に触れたことで、明日への活力となりました。また、今年初めての取り組みである小学生篆刻作品も新しい作成意欲につながりました。作品の説明の釈文も書をよりわかりやすく鑑賞し楽しむために効果があり市民の方より好評をいただきました。

5	団体名	芦屋三曲協会
	事業名	阪神淡路大震災復興30周年 第25回新春邦楽コンサート
	実施日時	令和7年1月11日 午後1時から4時
	実施場所	ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
	参加人数	293名
	事業内容	箏、三絃、八尺を中心とした邦楽演奏会で、プロ奏者3名も交え古典（古曲）から現代曲まで計11曲を演奏しました。開演同時に阪神淡路大震災の犠牲者への黙祷を行い、追悼曲として「涙そうそう」を演奏しました。来場者も合唱にて参加していただきました。会長及び芦屋市長から開催趣旨である「防災啓発」を織り交ぜた内容の挨拶がありました。幕間を活用し、招待のプロ奏者から震災当時の思い出を語っていただきました。
	事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上と啓発 阪神淡路大震災から節目の30周年を迎え「過去の出来事」と風化傾向にありますが、本会を機に改めて防災意識向上の一助になりました。 <ul style="list-style-type: none"> ・邦楽文化の伝承 来場者は、計画より約100名少なかったものの、開演当初から来場があり、途中退場者が殆どなく終演を迎えることができました。 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者から類似の演奏会に比して「来場者が多い」「演奏内容もよかった」等のお声を多々いただきました。また、本会の継続を望まれる来場者から多額の協賛金（任意）をお寄せいただきました。